

福岡市議会(3月議会)で何があったの?

29年度の予算を審議する3月議会の様子が度々マスコミによって報じられました。残念だったのは、自民党市議団と市長の対立抗争のように報じられ、何が争点だったのかが曖昧になってしまい市民に不安を与えた事でした。

そこで3月議会で争点となった「福岡空港」問題について簡単に説明致します。

福岡空港のターミナルビルの建替や滑走路の増設等の空港再整備が行われる事で今まで、福岡県・市と地場企業等で出資し運営していた福岡空港ビルディングに代わり、新たに民間委託による新運営会社が設立されることになりました。そこで、新たに設立される新運営会社に市が出資すべきか否かが争点となり議論が交わされました。



○市長と議会(自民党他)、双方の主な主張

市議会

(自民党会派含む41/62議員)

出資すべき

空港は本市の中央に位置し安全性や騒音対策など環境確保のため、国任せでなく自治体としての公的責任を果たすために運営に関与すべきだ。

市も株主として運営会社内から直接発言しないと意見の反映は難しい。

安全面

意見の反映

市長

出資しない

国が空港の所有権を持ったまま新運営会社を指導・監督するため、安全面等は確保される。

市の意向は運営会社との間での、法定協議会や独自の協議会の場において反映できる。

「出資すべきとの条例案」は3分の2近くの賛成多数で可決しました。しかし、議会において採決された議案に対して異議がある場合、市長の権限で「再議」を行うことが出来ることから再び議案は議会に戻され審議することになりました。[再議]で可決するには出席議員の3分の2以上の賛成が必要です。採決の結果、可決(3分の2以上)に1票足りず廃案となりました。

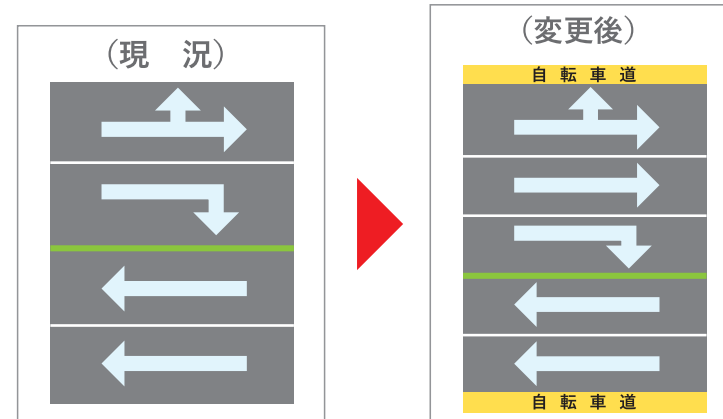
市長支援の会派といえども、市長(執行側)の議案に対し異議がある場合は対案を出し議論をするのが、二元代表制である地方議会の健全な姿ではないでしょうか。

イライラひやひや 解消 中村大学前交差点改良事業決定!

中村大学前交差点は国道202号と城南学園通りとが交わる交差点です。下り線は交差点手前で直進2車線から1車線になることから、無理な車線変更により交通事故が頻発しています。交通事故減少と不便性解消を図るために、①中村大学前交差点下り線(荒江方面へ向かう車線)の直進2車線化、②自転車専用道路の新設の二つの事業計画が決定しました。



混雑する中村学園前



平成29年6月議会 一般質問 (6月16日)

大原やすおの 議会報告



4人に1人は65才以上の高齢者という現代社会。その現代社会、特に地域社会は高齢者に支えられているといっても過言ではありません。その活動の基盤となっている老人クラブと情報媒体に頻繁に使われているカタカナ語について向き合い考えてみましょう。

6月議会に於いて大原議員は以下の2項について一問一答で1時間ほどの質疑を行いました。

- ①老人クラブについて
- ②本市におけるカタカナ語の表記について

①老人クラブについて

質問1

老人クラブは会員の健康維持や親睦を深めるだけの会ではなく子どもの見守りや地域活動において地域にはなくてはならない組織です。にも拘わらず会員の減少や解散を耳にします。補助金に対する過度の事務負担も一つの要因になっているようです。事務の簡素化、使途の緩和を含め会員が増える魅力ある老人クラブにするためにご支援をお願いしたい。

答弁1

老人クラブは様々な地域活動を通し地域で大きな役割を果たしている。老人クラブに対する交付金や連合会に運営費の助成を行っているが国の基準に準じて取り扱っている。事務については記載方法の説明や記載事項を減らす等簡素化に取り組んでいる。老人クラブの活性化、会員拡大に向け支援を行っていきたい。

②本市におけるカタカナ語の表記について

質問2

本市の新しい事業や施設にはよくカタカナ語が使われています。広報紙にもカタカナ語が多く見受けられますが、市民の方が果たしてどれだけ正しく理解されているのかは疑問です。アンケートを実施しましたが、言葉を発信する側と受け取る側が共通の認識を持たないと大きな誤解が生まれます。市長が目指すユニバーサル都市の実現には言葉の障壁を取り除かなければ難しい。市民みんなが理解できるよう市民目線で検討し分かりやすい言葉で発信することが大切だと思うがご所見を。

答弁2

事業や施設の名称については覚えやすく親しみやすいものであるかなど総合的に検討している。ユニバーサルデザインに配慮した印刷物の手引き等に基づき言い換えたり、本文中で説明したり注釈をつけるなど配慮し、分かりやすく効果的な発信をしていくように努める。



詳細は市議会ホームページで
ご覧いただけます。



福岡市でよく使われる カタカナ語 正しい意味はどれ!?

①ユニバーサル都市

- ア) 国際的な都市、
- イ) 年齢や障害の有無にかかわらず、すべての人が住みやすい街
- ウ) 世界中の人を引きつけるような催しや遊具を備えた大型の遊園地

②ワークショップ

- ア) 作業に必要な道具や衣類を売っている店
- イ) 課題について研究・討議を重ねる研修会
- ウ) 仕事を紹介する仲介所

③ハザードマップ

- ア) 地震・洪水など自然災害を予測して被害の種類・程度・範囲を示した地図
- イ) 災害などの危険を知らせるための連絡網
- ウ) 道路などに危険や障害物があることを記した地図

④バリアフリー

- ア) 病院に縁がなく元気に過ごせること
- イ) 障害者や高齢者が生活していく上で障壁を取り除き、誰もが暮らしやすい社会環境を整備するという考え方
- ウ) 自由に行動できること、又はその人のこと

(答えは最後のページ下段)